

2020年3月期第2四半期 機関投資家・アナリスト向け電話会議（決算） 主な質疑応答

Q1 相鉄・JR直通運転開始の影響について

11月に予定されている相模鉄道㈱とJR東日本旅客鉄道㈱の直通運転による影響をどのように考えているか。

- ・ 当社への影響は一定程度あると考えるものの、公表された内容を見ると同一区間では運賃差が大きいことなどから、影響は軽微であると考えている。

Q2 百貨店業について

足元で免税売上が減速しているが、第3四半期以降の見通しを確認したい。

- ・ 米中貿易摩擦や中国経済の減速とそれに伴う為替の動向、消費マインドの低下等のほか、同業他社との顧客獲得競争の激化もあり、先行き不透明感が強まっていると認識している。
- ・ 引き続き訪日外国人旅行者の動向を注視する一方、顧客支持拡大に向けた施策の実施に努める。

Q3 不動産分譲業について

今回修正した業績予想において不動産分譲業の販売計画を見直しているが、その要因を確認したい。

- ・ 今期最も販売戸数の多い海老名のタワーマンションは計画どおりの販売を見込むものの、郊外の一部物件が苦戦していることから計画を修正している。

【参考】小田急不動産 販売戸数（2019年度予想）（単位：戸）

	今回	4月時点予想	増減
戸建	127	145	△18
マンション	281	290	△9
土地	25	19	+6
合計	433	454	△21

Q4 ホテル業について

「決算説明資料」に記載してあるホテルのADRを確認したい。

- ・ 概ね好調であったが、一部箱根エリアのホテルで対前年を下回った。

Q 5 中期数値計画について

2019年4月時点の中期経営計画では、営業利益を今期、来期と伸ばしていく計画であったが、今回修正した業績予想で2019年度が下方修正となった。2020年度の営業利益の達成確度を確認したい。

- ・ 計画時に想定していなかった、大涌谷周辺の噴火警戒レベルの引き上げや台風19号の影響、また、インバウンドの動向変化等の環境変化を踏まえ、今後の利益計画を検討していく。

Q 6 台風19号による影響について

箱根登山鉄道の一部区間運休による利益の影響額を確認したい。

- ・ 現在、具体的な復旧時期・復旧費用の目途が立っていないことから、回答することは難しい。

Q 7 台風19号による影響について

箱根エリア各社への影響を確認したい。

- ・ 箱根登山鉄道の一部区間で運休が続いているものの、10月26日から箱根ロープウェイは全線で運転を再開しているほか、代行バスの運行や路線バスによる振替輸送も実施し、お客さまが周遊できる体制となっている。
- ・ 台風の直後から、ホテルやツアーで一部キャンセルが発生していると聞いている。今後も適切な情報発信を行いながら、状況を注視していく。

以 上

※ 本資料については、質疑応答の内容をそのまま書き起こしたのではなく、加筆・修正等を加え、当社がまとめたものであることをご了承ください。